



## 世界中薬学連合会薬膳食療研究専門委員会に参加してきました

去る8月10～14日上海において「2010年中国上海首届国際薬膳養生生産業高峰论坛」が行なわれ、辰巳洋学院長が出席しました。中国をはじめアジア各国から薬膳養生に関する専門家たちが集結し、大学17校、一般企業4社と参加者も160名にのぼり、会場は大変な熱気に包まれておりました。開幕式後、大学教授らによる予防医学や現代の膳食養生などの研究発表が行なわれました。翌日も各大学教授の薬膳食療についての栄養学のほか生産経営などについての発表があり、その後各ブースに分かれ討論会が行なわれました。上海は日本よりも気温が高い所でしたが、世界中薬学連合会の研究発表並びに討論会はとても充実した内容でした。



## 「百聞は一食に如かず!？」

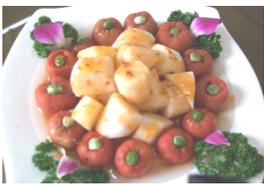
基礎・臨床研究科 萩原 郁子

大家好!

このたび、たくさんの方々に助けられて、国際薬膳師の資格をいただき、劉先生の母校、北京中医薬大学で開催された中日薬膳学術シンポジウムにおいて、資格認定授与式が執り行われ、列席の幸運に恵まれたことに心より感謝いたします。

シンポジウムでは、中日両国の先生方の薬膳研究への強い思いを感じ、日々進歩する薬膳の世界を垣間見ることができました。そして、何よりだったのは、学生食堂での午餐です。美しかったこと!美味しかったこと!量もすごかった……。いただいたメニューの、どれがどのお料理なのか、説明を聞いてお隣の方たちとあれこれ話したのは最初だけ、あとはもうパクパク夢中で食べてました。

さあ、なにを食べたのか?午餐のあとは大学博物館でその正体を確認しました。貴重な展示物や、中医学の歴史を丁寧に説明していただき、教科書で学んだ事に血肉が通う思いでした。食べ過ぎて、立ったまま眠気と戦うのがちょっとキツかった。夕食では国宝級の京劇を観劇、でも円卓の上の北京ダックを見ている時間の方が長かったような……。



翌日は万里の長城を歩き、うんとおなかを空かして薬膳料理に舌鼓、体にガツンと効くメニューでした。明十三陵観光のあと、夕食は宮廷料理!料理というより芸術ではないかと思うくらいの美しさでした。もちろん味は最高です。次は故宮博物院、天安門、そして北京料理。北京で大人気のお店とあって、テレビ取材が入り、先生方はインタビューなどで大忙しでした。そのすきにたらふくいただきました。頤和園、天壇公園を観たあと、北京郊外の神農莊園レストランへ。

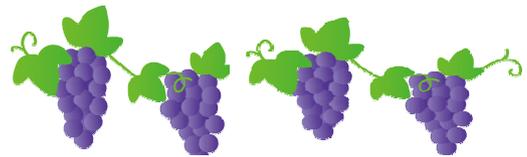
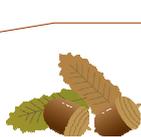
植物園の中にいるような、とにかく広い店内と、調理人だけで700人いる厨房は圧巻でした。薬膳のことは自分なりにちょっと勉強したつもりでしたが、そんな小さな知識は、今回の食事の前で消し飛んでしまいました。そのかわり、目、鼻、舌、体全部にどんな知識にも勝る体験が残りました。研修旅行にご尽力いただいた中日両国の先生方、スタッフの皆様、本当に本当にありがとうございました。

謝謝!



## ～お願い～

以前、配布しました『本草薬膳学院創立10周年記念行事』のアンケートを提出されていらっしゃる方は、至急、郵便・FAX・PDFファイルで提出下さいますようお願い申し上げます。皆さんと一緒に素敵な記念行事を創り上げていきましょう♪



ご紹介いただいた方が、  
**中医薬膳師通学コース**に  
 入学された場合には、些少な  
 がら謝礼を差し上げます。是  
 非、本格的な薬膳の知識を広  
 めていきましょう!  
 但し、他のコース(通信・  
 研究科)には適用されません  
 ので予めご了承下さい。

お知り合いの方を  
 ご紹介下さい